

議決権行使レポート

証券コード 6952

会社名 カシオ計算機株式会社

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件	○		
第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）7名選任の件			
櫛尾 和宏 氏	○		
増田 裕一 氏	○		
高野 晋 氏	○		
櫛尾 哲雄 氏	○		
山岸 俊之 氏	○		
尾崎 元規 氏	○		
数原 英一郎 氏	○		
第3号議案 監査等委員である取締役3名選任の件			
阿部 博友 氏	○		
千葉 通子 氏	○		
山口 昭彦 氏	○		
第4号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件			
伊集院 邦光 氏	○		

上記の推奨をした理由

第1号議案 剰余金の処分の件

剰余金処分の件について賛成とする。賛成の理由は以下の三つである。

1. ISSの示す基準によると、下記のいずれかに該当する場合を除き、原則として賛成を推奨している。

- ・十分な説明がなく、配当性向が継続的に低い場合
- ・配当性向があまりに高く、財務の健全性に悪影響を与えうる場合

下の表は同社の過去5年間の配当性向（単位：％）である。

【表1：同社の過去5年間の配当性向】

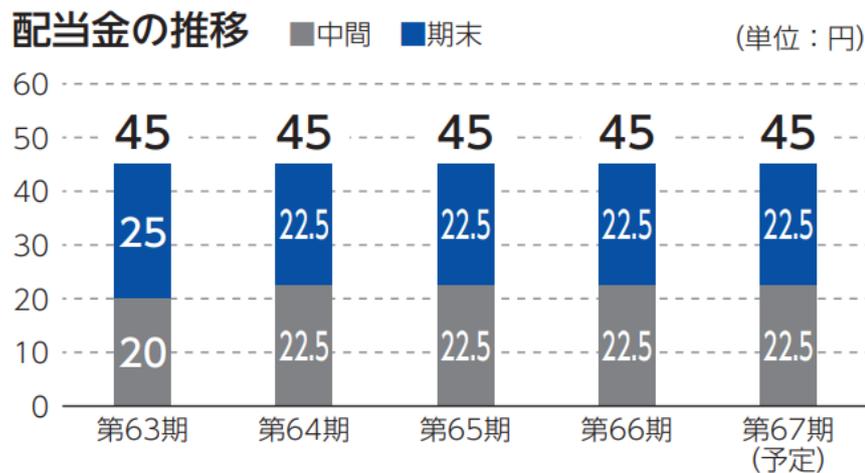
2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
50.1	62.3	90.9	68.7	82.3

表1から判断して、配当性向は比較的高い値を出しているが、過去5年間の自己資本比率が60%前後と低い値でないことなどから、財務の健全性に悪影響を与えているということはないといえる。よって、同社は上記のいずれにも該当しない。

2. ISSは配当性向が15%から100%の場合、通常賛成を推奨している。表1から分かるように、同社の配当性向は過去5年間この範囲に収まっている。

3. 以下は同社の招集通知から引用した配当金の推移を示すグラフである。

【図2：同社の配当金の推移】



配当金は過去4年間と比べて変化していないため、問題ないといえる。

第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）7名選任の件

第3号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

第4号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

第2から4号議案については共通して、以下のISSの基準を参考とする。

この基準は取締役選任に関するものであり、下記のいずれかに該当する場合、原則として反対を推奨している。

- ・資本生産性が低く（過去5期平均の自己資本利益率 [ROE] が5%を下回り）かつ改善傾向にない場合、経営トップである取締役
- ・いわゆる政策保有株式の過度な保有が認められる場合（政策保有株式の保有額が純資産の20%以上の場合）、経営トップである取締役
- ・株主総会後の取締役会に占める社外取締役の割合が3分の1未満の場合、経営トップである取締役
- ・株主総会後の取締役会に女性取締役が一人もいない場合、経営トップである取締役
- ・親会社や支配株主を持つ会社において、株主総会後の取締役会に占めるISSの独立性基準（※）を満たす社外取締役の割合が3分の1未満の場合、またはISSの独立性基準を満たす社外取締役が2名未満の場合、経営トップである取締役
- ・ISSの独立性基準を満たさない監査等委員である社外取締役
- ・前会計年度における取締役会の出席率が75%未満の社外取締役、及び監査等委員会の出席率が75%未満の監査等委員である社外取締役

※ISSの独立性基準は以下の通りである。日本企業においては、下記のケースでは独立性がないと判断される。

- ・会社の大株主である組織において、勤務経験がある
- ・会社の主要な借入先において、勤務経験がある
- ・会社の主幹事証券において、勤務経験がある
- ・会社の主要取引先である組織において、勤務経験がある
- ・会社の監査法人において、勤務経験がある
- ・コンサルティングや顧問契約などの重要な取引関係が現在ある、もしくは過去にあった
- ・親戚が会社に勤務している
- ・会社に勤務経験がある
- ・会社が政策保有目的で保有すると判断する投資先組織において、勤務経験がある

また、同社が定める社外役員の独立性は以下のとおりである。

当社では、社外役員の独立性について、以下の事項に該当しない場合に独立性を有すると判断しております。

1. 会社法で定める社外取締役、社外監査役の資格要件を満たさない者
2. 当社及びグループ会社の主要な取引先もしくはその業務執行者（業務執行取締役、執行役、執行役員等の重要な使用人。以下同）
3. 当社及びグループ会社を主要な取引先とする者もしくはその業務執行者
4. 当社の主要株主である者もしくはその業務執行者
5. 当社及びグループ会社が主要株主となる会社の業務執行者
6. 当社及びグループ会社の会計監査人である公認会計士又は監査法人に所属する者
7. 当社及びグループ会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家又は法律専門家（当該財産を得ている者が法人、組合等の団体である場合は、当該団体に所属する者（役員、重要な使用人。以下同）をいう）
8. 当社及びグループ会社から多額の寄付金を受領している団体等に所属する者
9. 当社及びグループ会社の業務執行者が役員に就任している会社の業務執行者
10. 就任前3年間に於いて上記2から9に該当していた者
11. 上記2から10のいずれかに該当する者の親族（本人の配偶者、二親等内の親族）

これらは ISS の独立性基準と同等の内容であるため、独立性基準については同社が定めるものを参考にする。

これらの基準をもとに、以下の指標について評価した。

・自己資本利益率 [ROE]

同社の過去5年間の ROE（単位：％）は下の表の通りである。

【表3：同社の過去5年間の ROE】

2019	2020	2021	2022	2023
10.46	8.68	5.67	7.26	5.90

過去5年間、ROEは5%を下回ったことがないため、基準を満たしているといえる。

・政策保有株式

政策保有株式の保有額が純資産の5.19%（2022年3月期）であったため、過度な保有はないといえる。

・女性取締役

千葉 通子 氏が女性の取締役であるため、基準を満たしているといえる。

・独立性

招集通知から判断して、すべての社外役員について、同社が定める独立性基準を満たしているといえる。

・出席率

招集通知によると、再任の社外取締役全員について出席率は100%となっているため、基準を満たしているといえる。

以上より、第2から4号議案における取締役11名全員の選任について賛成とする。

《参考文献》

- ・ カシオ計算機株式会社 第 67 回定時株主総会招集通知
[第 67 回定時株主総会招集ご通知及び株主総会資料 \(casio.co.jp\)](#)
- ・ カシオ計算機株式会社 2022 年 3 月期有価証券報告書
[有価証券報告書 \(casio.co.jp\)](#)
- ・ カシオ計算機株式会社 2022 年 3 月期決算短信
[2021 年度 \(2022 年 3 月期\) 決算資料 | CASIO](#)
- ・ ISS 2023 年版 日本向け議決権行使助言基準
[Japan-Voting-Guidelines-Japanese.pdf](#)